

原敬

原敬記念館第67回企画展

作人館

「作人館扁額」
(盛岡市立仁王小学校蔵)

盛岡藩校 作人館

〔城下及近在図〕
(もりおか歴史文化館提供)

令和6年6月22日(土) - 9月8日(日)
原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

- 開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 入館料 / 一般 200円 (団体 120円)
小・中学生 50円 (団体 30円)
団体入館料は30人以上の団体に適用します

指定管理者: 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

主催 / 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)
公益財団法人盛岡市文化振興事業団
共催 / 原敬を想う会



〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

原敬と盛岡藩校・作人館

令和6年6月22日(土)～令和6年9月8日(日)

各地域に息づいている藩校の伝統や精神を現代の視点で見直し、次代に生かしていこうという趣旨で毎年開催されている「全国藩校サミット」が、今年盛岡で開催されます。明治3年1月から翌年12月に上京するまで、原敬は盛岡藩の藩校・作人館で学びました。この作人館では佐藤昌介(北海道帝国大学初代総長)や田中館愛橘(世界的な物理学者)など、のちに各界で活躍する人物たちとの出会いもありました。

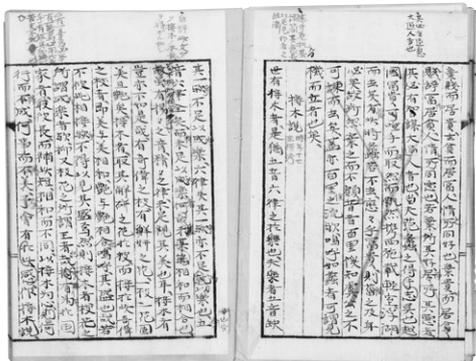
「全国藩校サミット」の開催を機会に、少年時代の原敬が作人館で学んだことや同窓たちとの関係、その後の人生に与えた影響などを紹介します。



「作人館扁額」(盛岡市立仁王小学校蔵)
作人館に掲げられていたもの。揮毫は少年時代の南部利恭(南部家41代当主)。



「作人館鉄瓶」(盛岡市立仁王小学校蔵)
作人館で使用されていた鉄瓶。「作人館」の文字が鑄出されている。



「雑録」(当館蔵)
原による作人館時代の作文が収められている。



写真「作人館の同窓たち」(当館蔵)
明治8年(1875)、東京で撮影。前列左端が原敬。



はら たかし
原 敬 | 1856～1921 |

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。

◆企画展関連講座

演題/原敬と作人館の同窓たち

講師/佐々木章行(原敬記念館学芸員)

日時/令和6年8月25日(日) 13:30～15:00

受付/令和6年8月11日(日) 10:00～電話にて受付(先着15人)

料金/無料

◆ギャラリートーク

日時/①令和6年 7月14日(日) 13:30～14:15

② 〃 8月25日(日) 15:15～16:00

③ 〃 9月 8日(日) 13:30～14:15

受付/①令和6年 6月30日(日)、②8月11日(日)、③8月25日(日)

いずれも電話にて10:00～先着15人
料金/入館料が必要(ただし②のみ同日開催の講座参加者は無料)

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ [他館のご案内]

◎盛岡市先人記念館

第69回企画展

「墨で語る書家—山口剛介・新渡戸仙岳・太田孝太郎—」

令和6年6月22日(土)～9月1日(日)

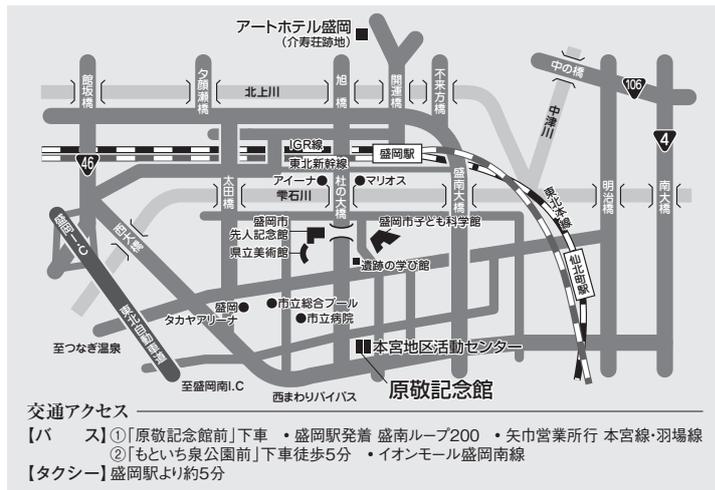
◎石川啄木記念館

大規模改修及び増築工事のため休館中

◎盛岡てがみ館

第71回企画展「作家たちの手紙」

令和6年6月19日(水)～10月7日(月)



交通アクセス

【バス】①「原敬記念館前」下車・盛岡駅発着 盛南ループ200・矢巾営業所行 本宮線・羽場線

②「もといち泉公園前」下車徒歩5分・イオンモール盛岡南線

【タクシー】盛岡駅より約5分